

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	岸野圭佑	学校名	鳳小学校
実施学年	支援学級	教科	合科的な学習の時間
单元名	じこしょうかいカードを使って、発表ノートの使い方を知ろう！		

《学びを深めたいポイント》

本学級は支援学級であり、書字に苦手意識を持つ児童が多く、ワークシートを紙にすると、それだけで書こうとしないこともしばしば見受けられる。それに比べて、タブレットでのローマ字入力や、タッチペンを用いてのタブレット上の書字には苦手意識が紙よりも大幅に軽減される。

また、絵にも苦手意識があり、思うように描けている場合はよいが、消すのがおっくうになり破ってしまったり、上手にいかないとその場で手が止まることが多い。また、なんでも描いてよいでは、思考が巡らずに、描けないことも多い。

そこで、発表ノートを用いて最初の自己紹介カードをかかせる。誰でも選べる内容で問を設定し、スタンプなどを入れることによって楽しく活動させたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

なにより楽しく、手軽に取り組めることをメインとした。

合科的な学習の時間の性質上、1～6年生までが出席しており、また個人の特性もバラバラである。また、日によってメンバーが異なることもよくある。そこで、この時間は誰もが一度は作ったことがあるであろう「自己紹介カード」を作る時間を設定した。

自分の写真を撮るときには、極力ほかの人が映らないようにという話をした。また、インカメラと外カメラの切り替えの仕方についても全体で指示をした。

3年生以下はローマ字入力を学習していないので、手書き入力やタッチペンでの入力も可とした。その仕方についても併せて指導し、高学年にはローマ字入力の大切さについても伝え、極力ローマ字入力をさせた。

算数や理科・特別活動等の学習に併せて、タブレットの学習にしたかったため、スタンプを用い、数量や天気を表現させた。

全体交流は、グループを未設定のためできなかったが、自分のクラスの児童には提出させ回収することができた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1. パワーポイントを用いて、本時の約束や、めあてについて共有する。	テレビ投影	
展 開	2. Teamsを用いて、全員が発表ノートをダウンロードする。 3. 発表ノートの文字の入力の仕方について、説明する。 4. 発表ノートに写真を入力する方法を伝える。 5. スタンプの使い方について教える。 6. 各々の進度で学習をすすめる。	発表ノートエクスポート機能 テレビ投影 発表ノート カメラ 発表ノート 発表ノート	支援学級の個別の授業設定についての周知がまだだったため、エクスポートして個別にダウンロードする。 全学年に対応した入力方法ができるように発表ノートを設定する。 ほかの人が極力映り込まないように声掛けをする。
ま と め	7. 今日したことをふりかえる。		

《実践を振り返って》

6学年がいる以上、多少の時間の差は想定していたが、思ったよりも時間の差が広がってしまった。
記録を取る時間はなく、1年生にかかりきりになってしまった。

グループ設定について全校に周知し、支援学級でも心置きなく授業を開始できるようにする必要性をより感じた。

